# オリンピックで加速する ふじのくに芸術回廊の実現

## ―静岡県文化プログラム―

ADVANCED PROGRAM FOR ARTS AND CULTURE SHIZUOKA 静岡県文化プログラム

スポーツの祭典と言われるオリンピックは、世界の人々が集い、交流し、理解を深める場でもある。東京２０２０オリンピック・パラリンピックの開催を〝文化の発信と相互理解の深化〟の機会と捉え、全国に先駆けて推進している本県の文化プログラムを紹介する。

### 文化・芸術の力で地域の誇りを醸成

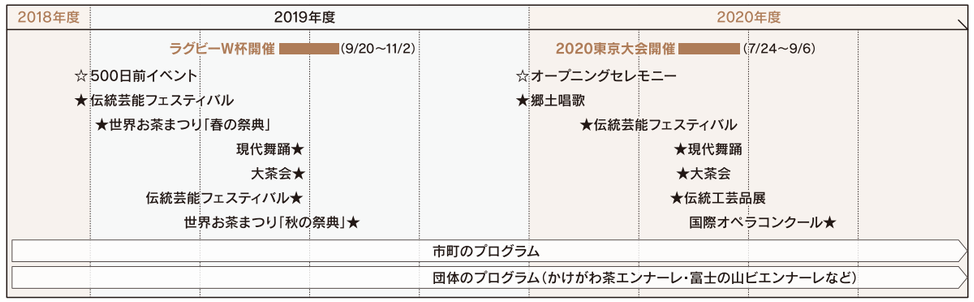
オリンピック憲章では、開催都市が文化プログラムを行うことを定めている。これは「オリンピズムは、スポーツを文化、教育と融合させ、生き方の創造を探究するもの」というオリンピックの理念に基づいている。２０２０年の東京オリンピック・パラリンピック（以下、東京オリ・パラ）については、川勝知事が２０１４年の全国知事会議で「開催地に限らず、日本全国で文化プログラムを展開しよう」と呼びかけ、その方針が採択された経緯がある。

本県は、２０１６年に文化プログラムを推進するための委員会を設置し（委員長に静岡県文化協会会長の鈴木壽美子氏、総合プロデューサーに静岡県舞台芸術センター（ＳＰＡＣ）芸術総監督の宮城聰氏が就任）、「地域とアートが共鳴する」をテーマに、県内のさまざまな文化資源、人的資源などを〝目に見える形〟で示す取り組みを進めている。ジャンルは美術、演劇、伝統芸能、音楽、舞踊、映像、文芸、食文化など多岐にわたり、多彩なプログラムを通じて本県の魅力を世界へ発信する。また地域に住む人々が文化資源の価値を再認識し、誇りを持ち、地域づくりが活性化し、感性豊かな地域社会が形成されることも目指している。つまり、東京オリ・パラは「ふじのくに芸術回廊」の実現を図る本県にとって、その取り組みを加速させる好機となる。プログラムは、五輪開催の５００日前イベント（今年３月）を本格的なスタートと位置づけ、２０２０年を経て、五輪開催後の２０２１年３月まで続く。

SPACの舞台芸術2017年「アンティゴネ」
©Christophe Raynaud de Lage








### 文化の力で地域を活性化

本県の文化プログラムは、全県規模のイベントから、市町や団体が行う地域に密着したプログラムまで、多彩な事業を重層的に展開していく。全県規模のイベントは、推進委員会と文化・芸術団体が連携して行う舞踊公演、伝統芸能フェスティバル、茶会、伝統工芸品展、合唱とオーケストラのコンサートをはじめ、ＳＰＡＣの演劇公演、県立美術館の企画展、県文化財団による音楽祭など。本県独自の認証制度を設け、県はもちろん、市町や団体による文化・芸術イベント・企画も文化プログラムとして展開してもらう。２０２０年度までに１０００件の認証を目指している。

文化プログラムでは、文化資源の掘り起こしや文化芸術を支える担い手の育成支援も行う。公募した中から採択したプログラムは、文化芸術振興の専門家による助言などを受けることができる。これは、福祉、医療、教育、子育て、まちづくりなど社会の幅広い分野において、アーティストの力を借りて地域の資源や課題を顕在化させ、地域活性化の糸口を見い出すことにもつながる。

アートを介した協働はすでに始まっている。例えば、浜松市の社会福祉法人が実施する「おべんとう画用紙プロジェクト」。障害のある子どもがおべんとうの絵を描き、その絵を元に親が実際にお弁当を作ることで、子どもと親のコミュニケーションを図ろうとするもの。子どもの絵や親が作ったお弁当の写真を紹介することで、療育の現場と社会をつなぐ効果も期待される。

こうした取り組みは、オリンピックの理念に沿うものであり、県内外の関係者から注目されている。

### 多くの県民の参加が鍵

東京オリ・パラを契機とする本県の文化プログラムは、一過性ではなく、継続的な展開を目指している。そのため、社会の幅広い分野において文化の担い手を支える仕組みを構築することが本県の目標になる。多くの人々が、日常生活の様々な場面で文化と接し、文化の力、すなわち「文化が社会を支える」ことを実感し、様々な形で文化と関わり始めることで、「社会が文化を支える」相乗効果を生み出し、本県の文化芸術が持続的に発展する。東京オリ・パラは、その大きな契機であり、多くの県民に鑑賞者として、そして実施主体として参加してもらいたい。

地域とアートが共鳴することで、思いもよらぬ出会いや展開を期待できる本県の文化プログラム。県民を挙げた取り組みとすることで、東京オリ・パラのレガシーとして「ふじのくに芸術回廊」の実現という大きな花を咲かせるだろう。

「おべんとう画用紙プロジェクト」の一環の展示。子どもが描いたお弁当の絵と、絵を元に親がつくったお弁当の写真を並べて展示している。

推進委員会と文化・芸術団体が連携して、現代舞踊のほか、多彩なプログラムを展開する。